

1 単元 わたしたちの暮らしと経済

2 目標

- 身近な社会的事象のうち、消費者問題や労働、財政などが、自分の現在及び将来の生活と密接にかかわっていることに気付き、調査活動や討論などに意欲的に取り組もうとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 企業の社会的責任や日本の財政の課題などについて、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
(社会的な思考・判断・表現)
- 経済活動に関する統計資料や新聞記事などを様々な方法で収集し、適切な個人や企業の経済活動、国や地方公共団体の経済的役割について、様々な資料を収集・選択して、読み取ったり文や図表などにまとめたりしている。
(資料活用の技能・表現)
- 身近な事例をもとに、消費や労働、生産と金融の仕組みや働き、国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割について理解し、その知識を身に付けている。
(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

本単元は、学習指導要領公民的分野の内容(2)のア「市場のはたらきと経済」、イ「国民生活と政府の役割」を受けて構成されている。ここでは、消費生活を中心に経済活動の意義を理解すること、市場経済の基本的な考え方について理解すること、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解すること、社会における企業の役割と責任について考えること、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たしている役割について考えること、財政の役割について考えることなどを主なねらいとしている。また、この学習においては、内容(1)イ「現代社会をとらえる見方や考え方」の学習成果を生かし、経済の様々な事柄や課題について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方と関連付けて理解したり、考えたり、判断したりするようにし、その過程や結果を、適切にまとめて発表できるように指導することをねらいとしている。

本学級の生徒は、素直でまじめに学習に取り組む生徒が多く、調べ学習や話し合い活動を熱心に行い、課題に対して自分なりの考えを表現できる生徒が増えてきている。

「効率と公正」の観点からの実態調査の結果は、次のとおりである。

- 「合唱コンクールに向けた練習計画をつくる際に、どのようなことに配慮するとよいか」
(複数回答)
 - ・ 平等な回数 19人 ・ 同じ時間配分 3人 ・ 練習場所 3人
 - ・ 練習時間を増やす、見やすく作る、もめごとが起こらないようにする 他
- (平成24年10月10日調べ 3年○組 37名)

実態調査の結果から、効率と公正に関する事柄を記述できた生徒は約6割で、質問の回答として不適切な記述をした生徒は約4割であった。効率と公正に関する事柄を記述できた生徒の内訳を見ると「平等な練習の機会を設ける」や「納得できる話し合いをすべき」と記述した生徒は多かった。しかし、いくつかの事実を根拠に説明できた生徒は少なく、一つの事実だけを根拠に説明した生徒が大半を占め、一面的なものの見方をする生徒が多いことが分かった。このことから、様々な視点から現代社会をとらえる見方や考え方ははぐくむ必要がある。

そこで本単元では、「わたしたちの暮らしと経済」において、「現代社会をとらえる見方や考え方」(以下「見方や考え方」という。)で社会的事象を理解する学習活動を繰り返すことで、それらを広げ、活用することができる生徒をはぐくみたいと考える。そのためにまず、自分の考えを整理するワークシートを使い、例示した効率と公正の観点を活用して社会的事象を理解する学習活動を行う。また、この学習を繰り返すことで、見方や考え方を広げていくようにする。次に、習得した効率と公正の観点を活用して社会的事象を理解する学習活動を行う。課題解決に必要な観点を選択し、それらを用いて社会的事象について理解し、判断したことを説明したり論述したりできるようにする。このような学習活動の工夫をすることで、効率と公正の観点を活用して社会的事象を理解することができるようになり、見方や考え方ははぐくむことができると考え、本単元を設定した。

5 学習計画(20時間扱い)

第1次 暮らしと経済 ----- 5時間(本時は第5時、別紙参照)

第2次	生産と労働	-----	4時間
第3次	価格の働きと金融	-----	4時間
第4次	国民生活と福祉	-----	6時間
第5次	まとめと評価	-----	1時間

6 本時の学習

(1) 目標

効率と公正の観点を用いて、コンビニエンスストアの24時間営業がどうあるべきかを考察し適切に説明することを通して、自分と消費生活のかかわりについて理解し、今後の生活に生かそうとすることができる。

(2) 準備・資料

資料集、ホワイトボード、コンピュータ、テレビ、ワークシート

(3) 展開

㊦は努力を要する生徒への手立て

学 習 活 動 ・ 内 容	支援・指導上の留意点
1 本時の課題を確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> コンビニエンスストアの24時間営業は必要だろうか。 </div>	
2 24時間営業のメリットとデメリットについて調べる。 【予想される生徒の調べる学習内容】 ○メリット：気軽に利用できる、 いざという時に利用できる、 防犯の役割、雇用促進 など ○デメリット：電気の浪費になる、 たまり場になりやすい、 健康に悪い、近所迷惑 など	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアの24時間営業の現状について調べるために、参考となる資料を複数準備する。
3 効率と公正の観点から24時間営業が必要か不必要かについての考えをワークシートにまとめる。 【用いると予想される効率と公正の観点】 [効率] もの、お金、時間、労力 [公正] 機会、結果、手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間営業をどうすべきかについて、効率と公正の観点を用いて自分の考えをワークシートにまとめていくよう指示する。 ・自分の考えを整理しながらまとめていけるように、各自の判断理由を明確にできるワークシートを用意する。 ㊦ 考えの書けない生徒には、前時までの学習で用いてきた観点を想起させ、課題との関連を具体的に説明することで、その解決が図れるようにする。
4 効率と公正の観点から課題について、小集団で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いでは、効率と公正の観点を用いて、その理由を説明するよう助言する。 ・自分の考えと友達の考えが区別できるように、話し合いの際には、青ペンを準備し、自分のまとめたことに付け加えてメモをとるよう助言する。
5 再度自分の考えを整理し、課題についての考えをまとめて発表する。	評) 効率と公正の観点を用いて、24時間営業がどうあるべきかについて、適切に説明している。 (思・判・表, ワークシート)
6 本時の感想をまとめる。 <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 今以上に暮らしやすい消費生活が送れるコンビニエンスストアであってほしい。 幸せな気持ちになれるコンビニエンスストアであってほしい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後「こうあってほしい」と考えるコンビニエンスストアの姿について論述するよう助言する。 評) 消費生活の意義について理解し、今後の生活に生かそうとしている。 (関・意・態, 学習計画表)

1 目標

- 今日の消費生活に関する諸問題に着目し、現代社会をとらえる見方や考え方を生活に生かそうとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 暮らしと経済について、「効率と公正」の観点を活用し、多面的・多角的に考察し、社会的事象に対して自分の考えを説明している。
(社会的な思考・判断・表現)
- 消費生活に関する課題や消費者問題、流通について、事例や統計資料を収集し、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。
(資料活用の技能)
- 身近な生活をもとに自分たちの生活と経済との関連に気付くとともに、かきこい消費者のあり方や消費者としての自立、流通について学習し、消費生活の意義について理解している。
(社会的事象についての知識・理解)

時	学習活動・内容	指導上の留意点と評価(評価は◎・努力を要する生徒への手立て㊟)
1	<p>1 本時の課題を確認する。 コンビニエンスストアをどこに開店させたらお客さんがたくさん来るだろう。</p> <p>2 立地条件、資料を参考に、効率と公正の観点からどこにコンビニエンスストアを開店させたらよいかワークシートに記述する。 【予想される生徒の調べる学習内容】 ・時間：すぐに行ける、何かの途中で立ち寄れる ・もの：欲しい商品がある ・お金：もうかる、お金引き出しやすい ・労力：いつも営業 ・場所：多く集まるところ、駐車場がある ・機会：誰でも行ける ・平等：値段の差がない ・手続き：近所迷惑にならないように など</p> <p>3 効率と公正の観点から、考えを説明できるように記述する。</p> <p>4 効率と公正の観点から課題について話し合い、再度自分の考えを書く。 わたしたちが便利な生活をするためにコンビニエンスストアはどんなことに気をつけている？</p> <p>5 課題についてまとめる。 【予想される生徒の調べる学習内容】 ・欲しいものが手に入る ・電子マネーで買い物ができる ・おいしい弁当が多い(弁当が豊富) ・商品販売以外のサービス ・POSシステムで管理している ・配送者はどこからくるの？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えがワークシート書けるように、効率と公正の観点(もの、金、時間、労力、機会、結果、手続きなど)から、コンビニエンスストアがどこにあったら便利か書かせる。 ・話し合いでは、効率と公正の観点をういて、コンビニエンスストアがあると便利な場所を挙げるとともに、その理由も説明できるようにさせる。 ・コンビニエンスストアの開店場所について、効率と公正の観点をういて自分の考えをワークシートまとめていくように指示する。 ◎効率と公正の観点をを使って、コンビニエンスストアをどこに開店したらよいか説明している。 (思・判・表、ワークシート) ・コンビニエンスストアの品揃えを想起させ、課題がもてるようにする。 ◎身近なコンビニエンスストアをテーマに意欲的に取り組み、消費生活への関心をもとうとする。 (関・意・態、学習計画表) <p>※コンビニエンスストア(以下コンビニという)</p>
2	<p>1 本時の課題を確認する。 電子マネーで買い物をするときのメリットとデメリットを考えよう。</p> <p>2 電子マネーのメリットとデメリットについて調べる。 【予想される生徒の調べる学習内容】 ・電子マネーのメリットとデメリットは？ ○メリット ・支払いが簡単。 ・お金を持たなくてもよい。 ・ポイントたまる ○デメリット ・金銭感覚がなくなる。 ・いろいろな場所で使えない。 ・残高がわかりづらい。 ・ものを買うときの収入と支出の関係は？ 収入>支出→貯蓄 収入<支出→借金</p> <p>3 課題についてまとめる。 収支のバランスを考えて商品を選択し、購入することが大切。</p> <p>4 効率と公正の観点に立って考えを整理し、話し合う。 本時の観点：お金・時間・機会 お金と電子マネーでは、どちらが便利？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子マネーのメリットとデメリットについて調べることで、収入と支出の関係について考えられるように助言する。 ・電子マネーのメリットとデメリットについて調べるために、参考となる資料を複数準備する。 ・お金と電子マネーの関係について理解できるようにする。 ◎収支のバランスと賢い消費生活の在り方について理解している。 (知・理、ワークシート) ・電子マネーのメリットとデメリットについて、効率と公正の観点をういて自分の考えをワークシートにまとめていくように指示する。

<p>5 効率と公正の観点から、考えを説明できるように記述する。</p> <p>6 再度自分の考えを整理し、課題について考えをまとめて発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを整理しながらまとめていけるように、各自の考えを可視化できるワークシートを用意する。 ・話し合いでは、効率と公正の観点を用いて、その理由を説明するよう助言する。 ・自分の考えと友達の考えが区別できるように、話し合いの際には、青ペンを準備し、自分のまとめたことに付け加えてメモをとるように助言する。 <p>◎効率と公正の観点を使って、お金と電子マネーの利便性について自分の考えをまとめている。 (思・判・表、ワークシート)</p> <p>㊦ 考えの書けない生徒には、「補助シート」を用いて、観点を想起させ、課題との関連を具体的に説明することで、その解決が図れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いでは、効率と公正の観点を用いて、その理由を説明するよう助言する。 			
<p>3</p> <p>1 本時の課題を確認する。 コンビニは安全な商品やサービスを売るためにどんな努力をしているのだろうか。</p> <p>2 様々なサービスを取り上げ、その安全性について調べる。 【予想される生徒の調べる学習内容】 ・安全や権利を守るための取り組みは？ 消費者問題</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">対応</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の4つの権利 ・製造物責任法 ・消費者契約法 ・消費者基本法 ・クーリング・オフ制度 </td> </tr> </table> <p>・広告のメリットとデメリットは？ ○メリット ・欲しい商品が見られる ・欲しい商品をを他者の値段と比較できる ・地域に密着している ○デメリット ・企業に消費を誘導されている ・欲しいとは思わなかったが、買ってしまう ・商品ではなくアイドルなどに影響される</p> <p>3 課題についてまとめる。 安全な商品を消費者に提供するため</p> <p>4 効率と公正の観点に立って考えを整理し、話し合う。 本時の観点：時間・もの・結果 広告は便利？</p> <p>5 効率と公正の観点から、考えを説明できるように記述する。</p> <p>6 再度自分の考えを整理し、課題について考えをまとめて発表する。</p>	対応	}	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の4つの権利 ・製造物責任法 ・消費者契約法 ・消費者基本法 ・クーリング・オフ制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの商品や各種サービスを想起させる資料から安全への取組について知らせる。 ・消費者のニーズに合わせてサービスを行っていることを理解させる。 ・商品の安全性について調べるために、参考となる資料を複数準備する。 ・広告と商品の関係について理解できるようにする。 <p>◎消費者の権利と保護について、具体的事例を通して理解している。 (資、ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いでは、広告の利便性について、効率と公正の観点を用いて、その理由も説明している。 ・広告のメリットとデメリットについて、効率と公正の観点を用いて自分の考えをワークシートにまとめていくように指示する。 ・自分の考えを整理しながらまとめていけるように、各自の判断理由が明示できるワークシートを用意する。 ・話し合いでは、効率と公正の観点を用いて、その理由を説明するよう助言する。 ・自分の考えと友達の考えが区別できるように、話し合いの際には、青ペンを準備し、自分のまとめたことに付け加えてメモをとるように助言する。 <p>◎効率と公正の観点を使って、広告の利便性について自分の考えをまとめている。 (思・判・表、ワークシート)</p> <p>㊦ 考えの書けない生徒には、「補助シート」を用いて、観点を想起させ、課題との関連を具体的に説明することで、その解決が図れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いでは、効率と公正の観点を用いて、その理由を説明するよう助言する。
対応	}	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の4つの権利 ・製造物責任法 ・消費者契約法 ・消費者基本法 ・クーリング・オフ制度 		
<p>4</p> <p>1 本時の課題を確認する。 コンビニの商品はどのようにわたしたちの手に届くのだろうか。</p> <p>2 資料の図を参考に、流通のしくみについて調べる。 【予想される生徒の調べる学習内容】 ・コンビニの商品（弁当）がわたしの手に届くまでの道のりを図に表す。 ・流通が合理化する前の図 ・一括仕入れの図 ・直接仕入れの図 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題について商品の流通経路について調べ、課題解決に必要な事実を整理させる。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通の合理化の図を参考に、従来の流通、直接仕入れ、一括仕入れのしくみについて整理させる。 ・流通のしくみについて調べるために、参考となる資料を複数準備する。 			

- ・オンラインショッピングのメリットとデメリットは？
- メリット
 - ・家から商品購入が可能
 - ・24時間買い物ができる
 - ・検索で商品が比較できる
- デメリット
 - ・安全面に不安
 - ・ネットにつながらないとできない
 - ・商品の質がわからない

3 課題についてまとめる。

商品を探し、仕入れや手間を省き、欲しい商品がわたしたちに届くようにしている。

4 効率と公正の観点に立って考えを整理し、話合う。本時の観点：もの・お金・労力・手続き

オンラインショッピングは便利？

5 効率と公正の観点から、考えを説明できるように記述する。

6 再度自分の考えを整理し、課題について考えをまとめて発表する。

◎図や表などの資料を活用して、流通について調べている。
(資、ワークシート)

- ・オンラインショッピングのメリットとデメリットについて、効率と公正の観点を用いて自分の考えをワークシートまとめていくように指示する。
- ・自分の考えを整理しながらまとめていけるように、各自の判断理由を明示できるワークシートを用意する。
- ・話し合いでは、効率と公正の観点を用いて、その理由を説明するよう助言する。
- ・自分の考えと友達の考えが区別できるように、話し合いの際には、青ペンを準備し、自分のまとめたことに付け加えてメモをとるように助言する。

◎効率と公正の観点を使って、オンラインショッピングの利便性について自分の考えをまとめている。
(思・判・表、ワークシート)

- ⑨ 考えの書けない生徒には、「補助シート」を用いて、観点を想起させ、課題との関連を具体的に説明することで、その解決が図れるようにする。
- ・話し合いでは、効率と公正の観点を用いて、その理由を説明するよう助言する。

5 1 本時の課題を確認する。

コンビニの24時間営業は必要だろうか。

2 24時間営業のメリットとデメリットについて調べる。

【予想される生徒の調べる学習内容】

- メリット：気軽に利用できる
いざという時に利用できる
防犯の役割、雇用促進 など
- デメリット：電気の浪費になる
たまり場になりやすい
健康に悪い、近所迷惑 など

3 効率と公正の観点から24時間営業必要性についての考えをワークシートにまとめる。

【用いると予想される効率と公正の観点】

- [効率] もの、お金、時間、労力
- [公正] 機会、結果、手続き

4 効率と公正の観点から課題について、小グループで話し合う。

5 再度自分の考えを整理し、課題についての考えをまとめて発表する。

6 本時の感想をまとめる。

今以上に暮らしやすい消費生活が送れるコンビニであって欲しい。
幸せな気持ちになれるコンビニであって欲しい。

・コンビニエンスストアの24時間営業の現状について調べるために、参考となる資料を複数準備する。

- ・24時間営業をどうすべきかについて、効率と公正の観点を用いて自分の考えをワークシートにまとめていくように指示する。
- ・自分の考えを整理しながらまとめていけるように、各自の判断理由を明示できるワークシートを用意する。
- ⑨ 考えの書けない生徒には、前時までの学習で用いてきた観点を想起させ、課題との関連を具体的に説明することで、その解決が図れるようにする。
- ・話し合いでは、効率と公正の観点を用いて、その理由を説明するよう助言する。
- ・自分の考えと友達の考えが区別できるように、話し合いの際には、青ペンを準備し、自分のまとめたことに付け加えてメモをとるように助言する。

評) 効率と公正の観点を用いて、24時間営業がどうあるべきかについて、適切に説明している。
(思・判・表、ワークシート)

- ・今後「こうあって欲しい」と考えるコンビニエンスストアの姿について論述するように助言する。
- 評) 消費生活の意義について理解し、今後の生活に生かそうとしている。
(関・意・態、学習計画表)